

## 2019年度 事業計画

### (概要)

今年度は、五輪関連需要の盛り上がりに加え、企業の設備投資意欲は依然強く、雇用・所得情勢の改善により個人消費も堅調に推移することが見込まれております。一方、米中貿易摩擦の激化、欧米の政治的混乱などにより、世界経済が悪化する下振れリスクには注意が必要な状況であります。今年の実質経済成長率見通しは、0.8%程度の成長と5年連続でのプラス成長が続くと予測されております。

こうした中で、ユーザー企業のシステム投資はRPA導入をはじめとして、業務の効率化や人手不足への対応のための省力化投資へと移行してきております。供給者であります当業界としましては、RPAをはじめ比較的小規模な開発案件が増えている中で、いかに付加価値を高めることで収益に繋げられるかが今後の課題となっております。

こうした動向を踏まえると、自社の持つ強みを見極め、特定の技術や商品・サービスに特化するとともに、新領域の技術者やビジネス創出のための人材確保と育成が欠かせません。自社の強みを活かした、新しい業務分野への取り組みを一層加速し、事業基盤を強化することが求められております。

採用活動に加え、若手社員や女性活躍促進など、社員の離職率を改善し、人材の育成・活用を推進することで従業員の満足度を高めるような「人事制度改革」や「働き方改革」に取り組むことが肝要です。

当協会といたしましても、関係機関との連携を一層強化し推進してまいります。

さて当協会におきましては、1月末で会員数は259社を数え、業界団体としての役割は益々重要となっており、7委員会を中心に幅広く連携し事業を展開してまいります。

事業面では、昨年刷新した研修・セミナー事業を定着化させるとともに、交流事業の一環として若手社員間の親睦の場を拡充すべく検討を進めてまいります。

継続事業では、会員相互の情報交換や産学交流、人材育成支援、業界動向調査、技術力向上などの課題に積極的に取り組んでまいります。

また環境変化が激しく、ダイバーシティ経営が叫ばれる今日、会員の皆様方、若手・女性経営者の皆様方にも、これまで以上に協会運営に参画していただけるような組織体制を整備してまいります。

事業の骨子につきましては、事業計画書に記載の通りですが、具体的なことは年度を通し担当委員会で具現化し会員の皆様にご案内いたします。

以上、今年度も会員皆様のお役に立つ事業を進めてまいりますので、会員各位のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## (事業内容)

### 1 会議の開催

定時総会および、重要事項審議のための会議を、次のように開催する。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1) 定 時 総 会   | 年 1 回        |
| 2) 三 役 会 議   | 必要に応じ随時開催    |
| 3) 理 事 会     | 原則として3ヵ月に1回  |
| 4) 常 務 理 事 会 | 原則として3ヵ月に1回  |
| 5) 各 委 員 会   | 委員会活動を定期的に開催 |
| 6) 分 科 会     | 分科会を定期的に開催   |

### 2 情報サービス産業の振興および調査研究事業

#### (1) 情報サービス産業動向実態調査

- ◇目 的：愛知県での情報サービス企業における実態の調査・分析し、その結果を今後の会員各社の経営戦略や関係機関の政策立案等に役立てる。
- ◇実施方法：会員企業の経営課題、今後の情報サービスのニーズ等を調査する。  
報告書はホームページに掲載することとするが、印刷物を希望する会員には、1部は無償、2部以上は実費（1千円程度）で提供する。
- ◇時 期：2019年10月調査、2020年3月報告書を発行予定
- ◇調査対象：会員企業

#### (2) 産学連携事業

- ◇目 的：大学や専門学校の就職関係者との懇談会の開催や、大学からSE講座等への講師派遣要請があった場合に対応するなど、連携を図る。
- ◇時 期：2019年11月 大学と専門学校の懇談会を開催予定。
- ◇対 象：愛知県近辺の大学・専門学校、会員企業
- ◇参 加 料：5千円/人（会員企業）

#### (3) 他団体との交流調査事業

- ◇目 的：情報サービス産業協会(JISA)、全国地域情報産業団体連合会(ANIA)、および他県の情報産業協会等、各種業界団体との交流活動事業を通し情報交換を行う。
- ◇期 間：随時

#### (4) 行政機関との連携

- ◇目的：①経済産業省、総務省、愛知県等の行政関連情報を会員企業へ提供する。  
②中部経済産業局および愛知県等、行政機関の事業への参画、各種調査に対応する。
- ◇時期：2020年1月、行政施策動向説明会を開催予定

#### (5) 採用活動支援事業

- ◇目的：会員企業の採用活動の支援を行う。
- ◇内容：①愛知県近辺の各大学学内企業展への参加支援  
②行政機関が開催する合同会社説明会の情報提供  
③採用担当者向け関連セミナーの開催
- ◇時期：随時

### 3 情報関連技術の研究開発及び利用の促進事業

#### (1) 情報技術関連研究事業

- ◇目的：情報サービス産業にとって関心の高い技術動向に関して、調査・研究する。
- ◇内容：PM コンテストの実施等、IT 技術の研究活動など
- ◇時期：2019年9月28日（土）PM コンテスト開催予定
- ◇会場：名古屋市内施設など
- ◇対象：会員

#### (2) 情報技術研修事業

- ◇目的：技術力の向上
- ◇内容：外部講師による「プロジェクトマネジメント」に関するセミナーを継続開催する。  
また「最新技術」に関する知識習得セミナーの開催を予定。

### 4 情報サービス産業に関する人材の育成事業

#### (1) 講演会・セミナー開催事業

- ◇目的：会員に対して、経営等に関する情報提供、法改正等に関する情報提供
- ◇内容：定時総会後の講演会、総務セミナーなど
- ◇時期：随時
- ◇場所：名古屋市内施設など
- ◇対象：会員
- ◇受講料：無料

## (2)教育研修事業

- ◇目 的：ヒューマンスキル・ビジネススキル等の向上、リーダーの育成
- ◇内 容：会員企業へ委託による人材育成研修の開催
- ◇時 期：随時
- ◇教育機関：外部講師、会員企業への委託など
- ◇対 象：会員
- ◇受 講 料：無料、または、5千円/人・日

## (3)公開セミナー事業

- ◇目 的：人材育成、技術力向上。
- ◇内 容：研修の開催など
- ◇時 期：随時
- ◇教育機関：外部の教育機関、専門家など
- ◇対 象：会員、一般
- ◇受 講 料：（会員）無料、（一般）10千円/人・日 または  
（会員）5千円/人・日以内、（一般）10千円/人・日

## 5 会員の厚生、交流、広報事業

### (1)福利厚生事業

当協会と AiA 健康保険組合の共催で、会員企業職員の健康と福祉の増進を図るため、次の事業を行う。

#### 1) 軟式野球大会

- ◇期 間：2019年8月より12月にかけて開催
- ◇会 場：名古屋市内
- ◇方 法：トーナメント方式、一昨年取り入れた敗者トーナメント戦を継続する
- ◇参 加 料：30千円/チーム

#### 2) ゴルフ大会

- ◇時 期：2019年 春季・秋季
- ◇参 加 費：実費

#### 3) テニス大会

- ◇時 期：2019年10月第3土曜日を予定
- ◇参 加 費：1千円/チーム

#### 4) 新企画

- ◇新たにボーリング大会開催を企画検討する

## (2) 団体保険事業

◇内 容：団体定期保険、医療保険

昨年度導入した新商品「AiA 業務災害補償保険」を会員各社へ提案していく。

また、入会促進キャンペーンの時期は一昨年変更した形で継続する。

## (3) 会員の交流事業

### 1) 賀詞交歓会

◇時 期：2020年1月9日

◇会 場：名古屋国際ホテル（名古屋市中区）

◇参加費：会員ごとに1人目無料、2人目以後5千円/人

### 2) 懇親パーティー

◇時 期：定時総会と同日（2019年6月13日）

◇会 場：名古屋国際ホテル（名古屋市中区）

◇参加費：会員ごとに1人目無料、2人目以後5千円/人

## (4) 優良従業員表彰

◇目 的：会員企業・従業員の勤労意欲の高揚と安定を図る。

◇運 用：優良従業員表彰規程に則り運用する。

表彰式は、定時総会と同日（2019年6月13日）に開催

## (5) 広報事業

### 1) 機関紙発行

◇目 的：協会の活動状況を会員並びに関係機関に周知し、また、会員相互の理解を深める。

◇発行回数：年4回（季号）

◇発行部数：各1千部

◇配布先：会員、情報関連団体、官公庁、学校等

### 2) 協会情報・会員情報の発信

◇目 的：①会員企業、AiA 未加入 IT 企業、関連諸官庁、県内関連団体を対象に、当協会の概要・活動状況、諸資料等を発信する。

②一般社団法人の公告の媒体として、AiA ホームページを利用する。

◇方 法：AiA ホームページに、協会の概要や活動状況、会員ホームページへのリンク情報を掲載する。

### 3) ホームページのリニューアル

- ◇目的：会員利便性向上、管理コストの削減、セキュリティレベルの向上
- ◇方法：昨年度検討した方式に基づき会員情報登録、開催セミナー申込管理機能追加などの一元管理が可能となるよう、リニューアルに着手する。

## 6. 検討事項に関する対応

### (1) 会員の交流事業開催施設の選定（総務委員会）

現在会員交流事業で使用している施設が、2020年6月以降、継続使用不可のため、「定時総会・懇親パーティー」、「賀詞交歓会」の開催場所を検討する。

### (2) 「大学・専門学校との就職担当者懇談会」開催施設の選定（採用支援委員会）

会員交流事業同様、「大学・専門学校との就職担当者懇談会」で使用している施設が、昨年12月をもって閉鎖の為、新たな開催施設の検討を進める。

## 7. 新公益法人制度の対応

- ◇目的：一般社団法人移行後の対応
- ◇内容：公益目的支出計画（公開セミナー事業）の実施、および実施状況の愛知県への年度報告